

| | | |
|----------|----------------|--------|
| ナンバリング | 授業科目名 (科目の英文名) | 区分 |
| AM43Z002 | 音楽(Music) | 基礎分野科目 |

| 必修選択 | 単位 | 対象年次 | 学期 | 曜・限 | 担当教員 |
|------|----|------|----|-----|--|
| 選択 | 1 | 1 | 後期 | 水4 | 小川 伊作 (非) 内線： E-mail : i-ogawa@oita-u.ac.jp |

【授業の概要・到達目標】

現代において、「音楽」は我々の生活の中で必須のものになっている。しかし「音楽」とは単純なものではなく、むしろ驚くほど多様で、深いものといえる。本講義ではこのように我々の生活と密接に関係を持ちながら、その実態を意識することの少ない「音楽」について、西洋音楽とその影響下に生まれた音楽の歴史をたどりながら様々な様態に触れ、あらためて「音楽」について考察する。

| 具体的な到達目標 | ディプロマポリシーとの対応 | | | | | |
|---|---------------|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 1. ともすれば娯楽として、感覚的な受容で満足してしまいがちな「音楽」に対し、歴史的な視点から音楽の多様性を説明できる。 | ○ | | | | | |
| 2. 「音楽」という語のそもそもの成り立ちを説明できる | ○ | | | | | |
| 3. 西洋クラシック音楽だけではなく、ジャズ、フォークソングに触れることで、より広範でフラットな視点から音楽を説明できる。 | ○ | | | | | |
| 4. 本学が大分県に立地していることにかんがみ、大分ゆかりの音楽家にも理解を深め、説明できる。 | | | | | ○ | |

【授業の内容】

| | |
|----|--|
| 1 | オリエンテーション：「音楽」とは何か？その意味、由来、語源について |
| 2 | 西洋音楽の起源：古代ギリシアと中世の音楽 |
| 3 | 祈りの音楽 中世ルネサンス音楽 |
| 4 | 音の建築物 バロック音楽 |
| 5 | 音で思想を表現する 古典派音楽 モーツァルトの音楽 |
| 6 | 音で思想を表現する その2 過度期の音楽 ベートーヴェンの音楽 |
| 7 | 音で物語を表現する ロマン派音楽 標題交響曲と交響詩 |
| 8 | 音で物語を表現する ロマン派音楽 その2 歌曲とオペラ |
| 9 | 行き着くところまで行ってしまった 現代音楽 |
| 10 | 20世紀の音楽：ジャズ 文化の混交 アメリカの産んだ20世紀最大の芸術音楽 その1 ジャズの誕生と発展 ニューオリンズからスイングまで |
| 11 | 20世紀の音楽：ジャズ 文化の混交 アメリカの産んだ20世紀最大の芸術音楽 その2 バップからポスト・フリーまで |
| 12 | 20世紀の音楽：ジャズ 文化の混交 アメリカの産んだ20世紀最大の芸術音楽 その3 日本へのジャズの伝播とジャズの影響を受けたクラシック音楽 |
| 13 | 20世紀の音楽：フォークソング 若者の気持ちを代弁 その1 アメリカン・フォークソング |
| 14 | 20世紀の音楽：フォークソング 若者の気持ちを代弁 その2 日本のフォークソングの誕生と変遷 |
| 15 | 日本の音楽：大友宗麟時代の南蛮音楽/日本近代の音楽の生みの親「瀧廉太郎再発見」 |

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

| | | | |
|------------|---|--|---------------------------------------|
| A：知識の定着・確認 | ○ | 意識していろいろな音楽に接してみる。すでにクラシックを体験済みの学生は、クラシック以外の音楽を聴いてみる。ポップス系を聴いている学生は、少し我慢してクラシック音楽を聴いてみる。 | BGM的(ながら)聴取は不可。聴く際にメモを取る用意をしておくとなおよい。 |
| B：意見の表現・交換 | | | |
| C：応用志向 | | | |
| D：知識の活用・創造 | | | |

【時間外学修の内容と時間の目安】

| | |
|------|--------------------------------------|
| 準備学修 | 配布されたプリントを予習しておく (5h)。 |
| 事後学修 | 授業の復習と、レポートに備え各種音楽の意識的聴取を心がける (20h)。 |

【教科書】 特になし。講義時にプリントを配布する。

【参考書】 随時指示する。

【成績評価方法及び評価の割合】

| 評価方法 | 割合 | 目標 1 | 目標 2 | 目標 3 | 目標 4 |
|-------------------------|----|------|------|------|------|
| アクティブラーニングレポート (800字程度) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 期末レポート (1200字以上) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【注意事項】 毎回音楽を多く聴くので休まないこと。また講義中の私語、内職等は禁止する。アクティブラーニングレポートは12月、期末レポートは後期授業時間最終日を締め切りとするので提出を遅れないように。いずれもメールで提出。

【備考】 特になし。

| | |
|---------------------|--|
| 教員の実務経験の有無 | |
| 教員の実務経験 | |
| 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無 | |
| 教員以外の指導に関わる実務経験者 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | |
| 授業形態 | |